

事業報告

今シーズンは、SBの県選手権大会が雷雨のため中止になった以外は、各スキー場のご協力もあり、大会運営がスムーズに行えた。

四国大会は徳島県と2点差の僅差であったが2連覇出来た。

B級大会では、西日本アルペン、大山アルペンで河上晴香選手が共にSLで優勝、RCCcupGSLで3位入賞した。スノーボードHPで渡部耕大選手がワールドカップ7位、FISの2大会で2位、A級の3大会で優勝、山本真丈選手はFISの2大会で優勝、同2大会で大倉慶子選手が優勝と2位の成績を残し、愛媛勢による初のアベック優勝を見た。Jrの日野沙也香選手は全日本ジュニア選手権で2位という初の表彰台に上がった。

スノーボードSBXでは、愛媛勢としては初めて岡田竜平選手が尾瀬戸倉でのFIS大会で優勝した。続く第2戦では惜しくも8位に終わったが、充分北国に通用する実力となった。

事業計画

SAJポイント100点以下の選手を育成することを目標としたい。

選手強化は各委員会が連携しながら、オフトレから計画し、トップコーチ等を招致し強化していく。

県内大会参加者は、例年とほぼおなじ状態で推移しているので、参加者を増やすよう努力したい。

ジュニアについては、教育部と協力して、基礎スキーからポール入門そして競技スキーへと発展させながら、ジュニア層を増やしていくよう努力したい。

スノーボードは、ハーフパイプについては、コーチ・トレーナー・選手の連携により、理想的な体制で競技力向上を図っていき、更にジュニア選手の獲得にちからを入れたい。

アルペン競技においては、ジュニア層が少ないので、底辺拡大を最重要課題として取り組みたい。